



つわの

3月定例会
議会だより

令和3年4月22日発行

No.62
2021
(R.3)

桜が舞い散る郷土館前(森村)

撮影 松本 康志氏

注目記事!!

令和3年度当初予算決定	2
一般質問	4~13
賛否表	16
子ども議会学習会	17~20

令和3年度 津和野町一般会計予算

令和3年3月5日から23日まで開催された3月定例会にて賛成多数で可決しました。

歳入歳出予算総額 84億2100万円

主たる歳出

(千円以下切り捨て)

【総務費】	津和野庁舎増築工事等総額	2億2961万円
	地方創生推進事業費	7790万円
	定住支援体制強化補助金	5190万円
【衛生費】	新型コロナワクチン接種事業費	5924万円
	日原診療所移転増築事業	6337万円
【商工費】	歴史的風致維持向上事業費総額	3億5071万円
【土木費】	地籍調査事業費	1億125万円
	町道改良事業総額	2億8933万円
	道路長寿命化対策事業費	6750万円
【教育費】	津和野城跡整備事業費	4455万円
	伝統的建造物群保存事業費	2916万円

主たる歳入

町 税	6億2784万円
地方交付税	38億9500万円
国庫補助金	8億7962万円
県補助金	5億4544万円
寄付金	5000万円
繰入金	6億1848万円
町 債	11億5660万円

表彰

令和3年2月16日、沖田 守議長が、島根県町村議会議長会長より表彰を受けました。

この表彰は、議会議員25年以上を務めたことと、議長を6年以上務めたことによる表彰です。



【お詫びと訂正】

『つわの議会だより12月定例会61号』17ページ中、津和野町役場第2庁舎について「耐震診断で、改修不可」とありましたが、これは、「耐震診断で相当な改修費が予測される」の誤りでした。訂正し、お詫び申し上げます。

令和2年度津和野町一般会計補正予算 (第11号)

＜令和3年1月12日開催の臨時会＞

＜補正予算第11号＞

(千円以下切捨て)

歳入歳出それぞれ1729万円を追加し、総額118億2800万円とする。

「主たる歳出」

農林水産業費 原木・チップストックヤード地質改良工事 …………… 943万円

令和2年度津和野町一般会計補正予算 (第12,13号)

＜令和3年2月17日開催の臨時会＞

＜補正予算第12号＞

(千円以下切捨て)

歳入歳出それぞれ507万円を追加し、総額118億3307万円とする。

「主たる歳出」

衛生費 新型コロナウイルスワクチン接種事業費…………… 507万円

＜補正予算第13号＞

歳入歳出それぞれ3685万円追加し、総額118億6992万円とする。

「主たる歳出」

総務費 新型コロナウイルス感染症対応地方創生推進事業費 …………… 3694万円

令和2年度津和野町一般会計補正予算 (第14,15号)

＜令和3年3月5日開催の3月定例会＞

＜補正予算第14号＞

(千円以下切捨て)

歳入歳出それぞれ1億2070万円減額し、予算総額117億4922万円とする。

「主たる歳出」

総務費	青野山荘等のPCB処理に伴い産業廃棄物処理業務委託料 ……………	587万円
	森林整備基金積立金など ……………	892万円
民生費	地域型保育給付費負担金 ……………	1571万円
土木費	除雪作業委託料 ……………	3482万円
	旭橋長寿命化対策工事費等 ……………	1414万円

＜補正予算第15号＞

歳入歳出それぞれ1億4158万円減額し、歳入歳出それぞれ予算総額116億764万円とする。

「主たる歳出」

総務費	商業、サービス業感染症対策小設備導入支援補助金 ……………	402万円
土木費	除雪作業委託料 ……………	262万円

以上可決(16ページ賛否表参照)


 みちのぶ としあき
道信 俊昭 議員

Q 促進住宅に給食設備を

A 検討したい

問

先日津和野高校の卒業式があり、両親とS君がやってきた。

「無事卒業できました」との報告を受けた。

そして、「島根大学に合格しました」とのこと。

彼は横浜から津和野高校に入学したが、1年がたった時、アクシデントがあつて住む場所がなくなった。

私とは何の面識もなかったが、話を聞いて下宿先を探した。

その時「促進住宅」が頭に浮かび、お願いをした。

高校生の入居は前例がなかったが、町は引き受けてくれ、そして見事に素晴らしい前例を作った。

彼は自炊できたので幸いだったが、一般的には高校生の下宿先としては、「食事」がネックになる。

そこで、現在空き部屋となっている管理入室を給食室に改修し、まかないのできる人に協力を仰げば高校の下宿室に変身する。

さらに、独身者も利用すれば入居率があがる。検討の価値がある。

町長 津和野高校の志願者

は、2021（令和3）年度の、定員に対する競争倍率は、1.16倍となり、志願者が増加する傾向にある。

これは、津和野高校魅力化推進事業が功を奏していることである。

津高の人気の高まる一方で、県が管理する寮は、定員を超過し、その他の生徒は下宿を探す必要が生じている。

そこで町としては、下宿制度の構築を高校と連携して取り組んでいる。

高校生の促進住宅の活用としては、大人が生活面を管理する体制が必要と判断している。

また、管理入室を給食室に改修する場合は、一般住宅の居住条件が必要となる。

問 促進住宅は、湿気が多いと言われているが、住環境は。

町長 湿気がでないように、空き部屋を週に数回、風を通してている。

問 津和野高校の校長によると「コンソシ

アム構想のおかげで、今、津高は良好な状態である」とのこと。

そもそも、「コンソシ

（共同体）構想」とは何か。

町長 コンソシウム構想とは「津和野高校と卒業生と地域が一体となり、津和野と日本を担う人材を育てる構想」である。

例えば、首都圏から津和野高校に入学して3年を過ごし、首都圏の大学に帰っていった生徒が、コロナ禍でもあるが、現在、津高生を教えている。

また、現役高校生は、住民に聞き取り調査などをして、津和野の課題解決に奔走している。

三位一体の新しい好循環の構築である。

問 そういうことであればS君は、まさにコン

ソシウム構想を身をもって行っている1人である。

彼は横浜出身なので、普通からしたら首都圏の大学を目指すはずだが、私は彼に「なぜ島根大学を目指したのか」と聞いたところ、「島根県の、津和野町に、貢献したい」とのこと。

実際、彼はコンピューターに卓越した才能を持っていて、高校から「助言してほしいことがあるので、時々来てほ

しい」と言われている。

促進住宅の不備を改善して、コンソシウム構想の拠点のひとつに活かしてはどうだろうか。

町長 津和野町としては、島根県教育委員会と高校と連携して、実施の可否も含めて検討したい。

その他の質問

津和野町事業者営業等支援事業補助金交付要領の文面には、至る所に「等」があり、あいまいで分かりにくい。

町長は、「男女共同参画」を標榜するが、来年度に新たな女性管理職を登用するか。





寺戸 昌子 議員
てらと まさこ

Q 生活困窮者の把握はしているか

A 随時把握に努めている

問

新型コロナウイルス感染症への対応を1年以上迫られてきた中、町民生活への経済的影響は大きくなっている。

そこで、生活困窮者について問う。

厚労省が12月22日「生活保護を申請したい方へ」と題したページを公式サイトで新たに公開した。

生活保護は国民の権利であり「ためらわずにご相談ください」と呼びかけ各自治体の福祉事務所を紹介した。

ここでは「よくある誤解」として『保護が最優先であり同居していない親族に相談してからでないと申請できないということはない』『持ち家がある人でも申請できる』など紹介している。

このたび国が新たに公開した背景には、最後のセーフティネットであるにもかかわらず、生活保護の受けづらさがある。

それは、困窮者本人や社会が持つマイナスイメージに起因する。

また、田村厚生労働大臣は国会で、扶養照会(※)は法律事項ではなく「義務では

ない」と答え、菅首相は「生活保護は国民の権利だ」と改めて認めている。

津和野町の生活困窮者の把握はしているか。

町長 社会福祉会と年2回会議を行う他、随時連絡を取り合っている。

扶養照会については、厚労省から文章もきており法律に則り最低限の調査、紹介を行っている。

問

新型コロナウイルス感染症のワクチン接種に対し町民は戸惑いを感じている。

相談専用窓口は設置しないのか。

町長 ワクチンに関する一般的な内容や接種スケジュール等についての問い合わせ、接種の予約を受けるための専用電話を近々設置する。

問

医療機関や介護施設など福祉施設で職員や入院患者、入所者に定期的に検査を行う社会的なPCR検査は行わないのか。

町長 町が主導する検査は考えていない。

問

東京五輪・パラリンピック組織委員会の森前会長が女性蔑視発言で辞任

した問題は、日本社会の女性差別の構造的なゆがみをあぶりだした。

これに対し、多くの人たちが「差別を許す社会自体を変えていこう」と声をあげ、社会を動かしている。

世界フォーラム発表 女性の地位121位(153カ国中)の日本において津和野町がジェンダー平等社会の実現を目指すことは容易ではない。

しかし、津和野町は定住施策の基本的視点を「若い女性が住みたいまちづくり」とし、基本目標の中に「若い世代の結婚・出産・子育ての夢をかなえる」と入れている。

ジェンダー平等社会が実現される町を一步でも前に進めるために以下の質問をする。

平成30年度第2次津和野町男女共同参画計画の進捗状況は。

町長 2023(令和5)年度の目標値については、町職員女性管理職の数、3人以上のところ今年度1人いたが、来年度より2人となる。

男性職員の育児休業取得者の割合目標値は10%としているが、今年度2月末時点で

16・7%と達成している。

問

町職員における正規職員、非正規職員の男女比は。

町長 今年度4月1日時点で正規職員が男性69・6%女性30・4%、非正規職員が男性35・6%、女性64・4%になっている。

問

庁舎内における男女の固定的役割分担意識は正されているか。

町長 男女の固定的役割分担意識は、実感としてないよう思っている。

しかし、19(平成31)年度に行った住民意識調査では、「固定的役割分担意識に否定的な人」の割合が、53・1%にとどまっている。

町全体で見ると、まだまだ性別役割分担意識が根強く残っている。

今後も啓発に取り組んでいく。

(※)扶養照会とは、生活保護申請の際、申請者の親や配偶者だけではなく、親族に対し、生活の援助が可能かどうか問い合わせること。

生活保護申請をばむ大きな壁になっている。

Q 防災備品倉庫を公共施設に設置できるか

A 担当課に相談してほしい



かわだ つよし
川田 剛 議員

問 役場本庁舎の移転と津和野庁舎の増築がある。

移転や増築に併せ、住民の避難所としての活用は計画されているか。

町長 本庁舎、津和野庁舎とも避難者の受入場所を検討している。

問 防災備品の調達に
関し、活用できる助

Q コミュニティ・スクール制度をなぜ導入するのか

A 学びの協同推進事業に支障が出るため

問 新学習指導要領への移行において課題はないか。

教育長 課題として、

①学校教育に地域の人的・物的資源も活用し、社会との連携及び協働により資質・能力の育成を図ること。

②学校全体で児童生徒や学校、地域の実態を適切に把握し、教育課程に基づく教育活動の質を向上させ、学習効果の最大化を図ること。

③各教科等の指導に当たって、資質・能力が偏りなく育成されるよう、児童生徒の主体的・対話的で、深い学びの実現に向けた授業改善をしていくことがあげられる。

成制度は、どのようなものがあるか。

町長 地域提案型助成事業やまちづくり組織交付金の活用を検討いただきたい。

問 地域の防災備品の
管理倉庫などを公共施設敷地内に設置できるか。

町長 担当課に相談頂きたい。

各学校においても研修が行われ、次年度に向けた学校の特色を活かした教育課程の編成作業が行われている。

問 小学生子ども議会
学習会主催者教育に
ついての所見は。

教育長 学習会は有意義な学習会となっており、振り返りを行い、次年度へ向けに進めたい。

問 各学校に配布される
タブレット端末は教
育の中で、どのように活用さ
れるのか。

教育長 新型コロナ対策で、国が急遽1人1台の整備に予算拡大した。

対応も後手になり、内容に

ついて十分に検証されていない。

新年度、活用しながら研究を行う。

問 家の端末の持ち込
みや学校の端末の持
ち帰りなど、学習の補助とし
て使えるか。

教育長 学校端末の持ち帰りやご家庭の端末の学校への持ち込みなどのルールは、今後検討していくが、事情がある場合などは個別に、弾力的に対応したい。

問 設置を目指し取り
組まれるという、コミュ
ニティ・スクールを導入する理
由は。

教育長 これまで学びの協同推進事業として、地域と学校の連携、協働を進めるとともに、学校評議員の皆様にも、学校運営についての意見をいただいていた。

国は、一部補助事業に対し2020（令和2）年度から、コミュニティ・スクールが、導入もしくは計画があることを補助要件としたので、制度を導入しなければ、学びの協同推進事業に充てている補助事業の採択を受けられないため、支障が出るので導入する。

導入にあたり、地域で関わる方は多くの場合同じ方で、意識の持ち方が、受動的から能動的なものになるイメージである。

問 『スポーツ推進計
画』について、新たな
ビジョンや計画の策定をされ
るようだが、「社会教育関係
団体等との連携による持続可
能な運営体制（学習指導要
領」を構築するためにも、
学校における部活動やスポー
ツについては、人口減少を鑑
み社会教育や社会体育と連携
し行うべきと考えるがどう
か。

教育長 ご指摘のとおりである。

学校と地域が連携して取り組む仕組みについて検討したい。



2月2日子ども議会学習会の様子（津和野小）



丁 たいじん 議員

Q 当町のワクチン接種の予定は

A 4月19日の週にワクチン1箱入荷以外未確定

問

現在、町民に一番関心のあるコロナワクチン接種に関して今後の予定は。

町長

現時点で国や県からの情報では、4月19日の週にワクチン1箱（接種回数975回分）が当町に配分される予定。その後の状況は未確定である。

そのため現在のところ4月末以降でワクチン接種を開始するスケジュールで準備を進めているが、今後の国からのワクチン供給量等により、更に開始時期がずれる可能性も考えられる。

問

コロナ感染症緊急経済対策において、当町は他市町村に先駆けて町単独の経済施策を様々実施してきた。中でも特に商業、観光関連事業者に評判の良かった施策は、「業績悪化緩和運転資金補助金」、消費喚起を目的とした「所得ドライブショッピング券」の発行、更には「固定資産税の延納」施策である。すでに終了した企画、特に「所得ドライブショッピング券」の発行や「固定資産税の延納」施策の継続を望む声が多いがどう考えるか。

町長

町内消費拡大を目的とした「忘年会、新年会応援キャンペーン」、「所得ドライブショッピング券」のプレゼントについては、観光協会の分析結果によれば、町民からの評価も高く経済対策として一定の効果があったとの報告を受けている。

今後も国の第3次臨時交付金を利用した経済対策を具体化するに当たって、これら要望されている施策を、コロナ感染症の沈静化、終息などの状況を考慮しながら、適宜実施することは選択肢の一つとして捉えている。

また固定資産税の延納についても、前年同期に比し、概ね20%以上収入が減少していることを要件として徴収の猶豫を行いたい。

問

次に観光行政にかかわる「カトリック教会乙女峠殉教者列福成就」運動に関する現地整備（公衆トイレの新設、駐車場整備、マリア聖堂までの里道の整備等）のその後の進捗状況はどうなっているか。特に公衆トイレの新設に関しては、下水道工事完了を待ってという事であったが。

Q 重伝建地区での建設に制約は

A 周囲の景観に調和した建物とするため伝統的建造物保存審議会の意見を踏まえて決定する必要がある。

問

この度、津和野庁舎改修にあたって一部災害時避難個所を目的とした2階建て増築建物（床面積417㎡、建設工事費2億200万円）の建築場所が現職員駐車場になっている旧鹿足交通安全協会跡に決まり、建物は殿町に面して現庁舎と横並びで建てられることになった。職員の駐車場代替地と災害時避難場所の確保は。

また、伝建地区での建設に伴う制約等は。夏祭りイベント会場として残して欲しいとの要望に対する対処は。

問

「中座団地解体と建築に関して」来年度の予定は。町長 来年度は解体造成予定で、2300万円の解体費用を見込んでいる。建設に関しては現在計画策定中である。

昨今の協会発行の情報誌によれば、ローマ教皇庁列聖省へ提出すべき列福成就に必要な各種の書類の手続き作業が着々と進められ、来るべき日（2023年禁教令撤廃150周年記念日）を目指しているとのこと。

町長

公衆トイレに関しては、21（令和3）年度に下水道の敷設工事開始が予定され

22（令和4）年度に完了見込みであり、その進捗状況を鑑みながらなるべく早い段階で、公衆トイレの計画、整備を進める。

駐車場整備、里道の整備に関しては、関係各課との調整、政教分離の調整など有りながら、より有利な事業導入の可能性などを検討する。

Q 町の活性化は人材活用が重要

A 業務委託で効率化を加速させる



いたがき たかし
板垣 敬司 議員

施政方針について

問

まちづくりに、地域おこし協力隊・集落支援員・地域おこし企業人制度を多用している。

今年度の配置や活動費など、委託料として計上されている業務は。

町長 現在、地域おこし協力隊22人、集落支援員33人、地域おこし企業人2人を配置している。

委託先として、特産品の魅力化や交流人口拡大の企画等を(株)ファンディングベースに、自伐型林業の普及と推進を合同会社ヤモリへ。

買い物支援と見守り業務を(株)津和野開発へ。

観光支援を通じた集落振興業務を津和野町観光協会へ。

日原賑わい創出拠点による、商店街の活性化支援業務をNPO法人にこほらへ。

2021(令和3)年度も地域おこし協力隊18人、集落支援員31人、地域おこし企業人1人の配置を予定している。

今年度から新たに一般社団法人つわの学びみらいが委託先に加わる。

委託料として、地域おこし協力隊に399万8千円。

集落支援員に170万8千円、地域おこし企業人に560万円。

問

会計年度任用職員として、町が直接雇用されている地域おこし協力隊や集落支援員さんと委託先における給与や福利厚生で、不公平は生じていないか。

町長 今春、設立された一般社団法人つわの学びみらいでは、雇用契約上、若干の待遇面に公平性に欠ける部分があるが、解消に向け鋭意努力されるものと考えている。

問

観光振興に、体制の強化が計画されているが、石見観光振興協議会への職員派遣や萩石見空港利用促進協議会が雇用されるスタッフの津和野町東京事務所への常駐など、体制強化が目論まれている。

町長 浜田西部県民センター内に事務局をもつ、石見観光振興協議会へ関係する9つの市町から、2年ごとに持ち廻りで職員派遣することが検討されていた。

これを受けて、今回、津和野町より派遣することとなった。

た。

また、萩石見空港利用拡大促進協議会(益田市・浜田市・萩市・津和野町・吉賀町・阿武町)では、都市間交流や関係人口創出を推進する体制強化を図るうえでスタッフを公募型プロポーザル方式で募る。

問

空き店舗活用を促す施策はどのような現状か。

町長 県の地域商業活性化支援事業を活用した町商業支援事業費補助金制度と空き店舗活用基盤整備補助金制度を設けている。

支援事業の一般枠は、補助率が50%で、上限が200万円、買い物不便対策特別枠では、上限が1000万円となっている。

20(令和2)年度では一般枠で、1事業者が交付決定している。

一方、基盤整備補助制度は、令和2年度に新設された町単独制度で、中小企業者を対象としている。

補助率は50%、雇用される従業員数によって上限300万円。

住居と店舗活用の制限が解

消され、令和2年度で1事業者からの申請があった。

問

民間賃貸住宅建設(改修)支援事業の創設はどのようなものか。

町長 昨年7月から始めた「津和野町空き家再生事業」は耐震診断、耐震補強工事、トイレの水洗化を補助要件としていた。

2件の物件を対象として実施したが、耐震補強工事に多額の費用を要して、水廻り等の改修に多額の負担が生じた。

受益者負担を軽減して、空き家再生を積極的に進めたい。

耐震補強工事を含め、事業費の4/5、上限960万円を補助する。

21(令和3)年度から3カ年18件を予定している。





みうら えいじ
三浦 英治 議員

Q 買い物困難者の対応は

A 対策が必要

問 1月末日をもって「つむぐ」ショップが、店を閉じた。

この影響をどう捉えているか。

町長 橋北地区の食品小売店が減少する中、唯一営業を継続していただき、同地区を中心とした買い物不便対策に、大きな貢献を賜った。

同店舗の創業時には、当町としても島根県と連携し可能な限りの支援を行うべく、買い物不便地域に指定した上で、空き店舗活用による改修費等の特別補助を行った。

今年1月末まで営業いただいたことに心よりお礼を申し上げる。

影響は、小売り卸売りを含め、移動販売も実施していたこともあり、その影響をできるだけ抑えるためにも、当町の買い物支援サービス、町営バス運行との連携など対策が必要であると認識している。

問 2018（平成30）年11月、津和野町買い物支援センターが開始してからの現状と課題は。

町長 買い物支援サービスは、株式会社津和野開発に、業務を委託して実施している。

3月1日現在、加入件数は66件、参加商店は19店舗で、生鮮食品

以外にギフト、時計、本、生花、印鑑、仏具など約1000品目の商品を取り扱っている。

注文受付は電話・FAXによるものが主で、注文商品を集落支援員がピックアップし、毎週火・木曜日の週2回配達している。

2月締めの利用状況は、津和野・日原それぞれ8回の配達のうち、津和野地区が75件、売上高20万2898円、日原地区が106件、売上高18万8306円の合計181件、39万1204円の売り上げになっている。

課題は、支援事業を実施する上での関係部署との情報共有や、商店が減少していく中で、地域と連携した拠点づくりに向けた買物支援サービスのあり方について検討する。

問 高齢者の買い物物が困難になると、栄養のある食事を摂れなくなる人が、増えることが懸念される。

健康寿命を増進する意味でも重要なことと思うが、健康福祉の観点からどう考えるか。

町長 町内外で食料を確保する手段として、民間の宅配（生協や地元商店）や移動販売の利用やつわの暮らし推進課が主管している買物サービス、健康福祉課の配食弁当、介護保険のヘルパーを利用し

た買物等の公的な買い物支援の利用、ご近所、家族などへ買物をお願いする、地域の買い物バスなどがある。

買い物とは、「外出する機会」の確保、出合った人と話をする「コミュニティ」の維持、商品を見ながら用途に合った品物を「選択する力」、レジで購入した品物に見合った代金を支払う「金銭を

Q 空き家対策は

A 善意に頼る点が課題

問 2019（平成31）年3月に「津和野町空家等対策計画」が策定された。

現地調査の結果、町内500戸の空き家があり、その内の13%にあたる64戸が「倒壊の危険性があるなど住むことができない」判定Dと示されたが、この危険家屋の判定後の状況と課題は。

また、特定空家等に認定された件数と候補は。

町長 瓦の落下や建物の倒壊により、人的または物的損害が発生する可能性がある物件は、自治会からの通報により、現場確認を行っている。

所有者と連絡をとり、危険回避の対応を依頼しているが、特定空家等に認定するまでは、対応依頼に法的根拠がないため、所有者

管理する力」など認知機能の維持にも大きく影響する。

また、認知症の早期発見にもつながる。

町内に買い物ができる商品がなくなることは、単に必要な食材が届けられず低栄養になるだけでなく、生活全般を支える力が低下する可能性があり、健康寿命を維持するためにも大きな課題である。

の善意に頼る点が課題になっている。

特定空家等の認定は、3月時点で1件、自治会より要望があり、危険回避をしてない物件は4件。

問 空き家の解体撤去にあたっての補助金は。

町長 現在のところないが、早急に対応せざるを得ない状況も考えられるため、危険家屋撤去工事を行う所有者に対し、上限120万円を補助する制度を新設した。

問 解体撤去で、アスベストが確認された場合の補助金は。

町長 当町の制度は、ない。島根県によるアスベスト除去等に係る資金を融資する制度は運用している。

Q 今までの町の取り組みが評価されて医師確保につながっていると考えるが

A 2019（令和元）年度より自治医科大学卒業医師の派遣を受ける等、現在医師7人体制で診療している



おかだ かつや
岡田 克也 議員

問

津和野町は、医療崩壊危機を経験して以来、前町長時代から一貫して町の最重要課題として、医療を守るために国や県と連携しながら様々な政策を行って来た。

町の医療に対する姿勢や取り組みが認められ、島根大学や自治医科大学等からの医師の派遣につながっていると思う。

また、益田赤十字病院の木谷院長を医療統括管理者として、三輪理事長等の橘井堂の医療従事者に加え、医療統括

Q 橘井堂医療従事者の処遇改善と健全経営を

A 医療従事者確保のため処遇改善と経営努力等が必要

問

橘井堂と他の医療機関の看護師等の医療従事者の処遇を比較した時に、看護師等の確保のために処遇改善は不可欠である。

しかし、橘井堂の経営と津和野町の財政は直結しており、橘井堂の経営悪化は、そのまま津和野町の財政悪化につながる。

医療従事者の処遇改善の財源をどう考えるか。

過疎地域における公立病院に対する国の支援も重要と考

副管理者も新たに置き、医療対策課と共に、一層強固な体制整備を進めて、医療の充実、法人経営や医療従事者確保対策を行われると思うが構想を尋ねる。

町長 19（令和元）年度より初めて自治医科大学卒業医師の派遣をいただき、20（令和2）年度より島根県のキャリア形成プログラムによる医師1人、津和野町奨学金貸与医師1人が赴任され、須山・飯島両医師も週4日出勤となり、常勤の放射線科医師と三輪理事長以下、7人体制とな

えるが。

町長 看護師等の確保による病院機能の維持のために圏域病院・施設並みの処遇改善が求められている。

処遇改善には財源確保が重要であり、橘井堂の経営努力がまず不可欠であり、行政としても一般会計からの予算繰入れ等を考えているが、慎重に進める必要がある。

過疎地域の公立病院への国の支援は他の市町との連携が効果的と考えている。

り、ゆとりをもった診療が可能となっている。

今後の医師確保も島根県や関係大学への派遣要請等、一層努力したい。

Q 日原診療所の機能充実による医療体制強化は

A 日原地域唯一の医療拠点として充実させる

問

日原診療所の機能充実や医師体制の充

実に、周辺地域からの外来受診者の増加が見込まれ、益田赤十字病院・津和野共存病院との連携が一層進展し、受診から検査・入院・退院後の在宅医療・介護までが一貫した流れとして構築され、橘井堂の収入増加にもつ

た。

Q コロナ禍による税収減に対して、高い徴収率と

A ふるさと納税は、過去最高の6千2百万円となっている

ふるさと納税は、過去最高の6千2百万円となっている

問

地方税の収納率全一の島根県で、津和野町は、近年常に県下トップクラスである。

これは税務住民課の職員の業務精励の成果と思う。

ふるさと納税は地域産業振興にもつながると考えるが。

津和野町のふるさと納税の認知度が向上している。返戻品はメロン、シャインマスカット、わさび等が人気である。

Q 日原体験ツアー企画研修等を通じて、島根県立大学等と

A 県立大学等の複数の大学との連携が始まっており、社会を

牽引する人材育成のため、大連携を支援して行きたい

看護師確保も看護学生の修学資金貸与額の増額や看護学校等の訪問等で魅力を最大限に伝えたい。



うしろやまゆきつぐ
後山 幸次 議員

Q 建築関連の専門職の雇用は

A 引き続き職員募集を行う

問

現在、津和野町では建築関連の事業が多く、庁舎を始め、町営住宅、給食センター、駅舎、古民家改修等、建築物の年次計画がされている。

まず基本設計をして、実施設計、管理業務と設計事務所へと業務委託をしている。

1級建築士の雇用は。

町長 今年度において、役場本庁舎の改修をはじめ、木部さとやま保育園建設や原木チップヤードの建設等を発注している。

また、2021（令和3）年度には津和野庁舎増築棟、日原保育園の建設など公共施

設の建築を計画している。

加えて、当町の後田地区は、伝統的建造物群保存地区に指定されており、津和野町伝統的建造物群保存条例に基づいて策定した、保存計画に記載の基準を踏まえて新築する必要がある、専門的な知識が求められる。

こうした状況を踏まえ、20（令和2）年度職員採用試験3次募集として、建築の専門職員を行ったが、応募がなかった。

建築の専門職員の必要性は認識しているので、引き続き職員募集を行う。

Q 町勢要覧の発刊は

A 時期を考慮して検討する

問 町勢要覧とは、町の地勢、位置、町発展の経緯、歳時記、年度毎の変革、人口の推移、世帯数や産業構造の推移等、変革していく町の形態の周知のために発刊されるべきであり、下森町政12年を鑑み、新しい執行部体制で、町勢要覧の早期発刊に取組んでは。

町長 津和野町民憲章、町の花・木・鳥、人口動態など町

の状況については、町の最上位計画である津和野町総合振興計画などの各計画に記載しており、11（平成23）年以降発刊していない。

町の最新情報をまとめ町勢要覧として発刊することは、町内外への情報を発信し、町の状況を周知するための有効な手段であると考えているので、時期を考慮しながら検討する。

Q 津和野町事業概要書の発刊は

A 有効な情報発信の在り方について検討する

問 11（平成23）年度4月1日～3月31日の

一年間、町が行う事業と予算について、各事業毎の事業内容や財源内訳が分かる概要書を発刊され全戸に配布した。

時間と経費も相当必要であるが、行政側が積極的な情報を開示し、共有することが大切である。発刊を検討されたい。

町長 「見える分かる、ことしの仕事」は、13（平成25）年6月発効後、町広報誌に当初予算と新規事業を掲載すること

とし、それ以降発行していない。

広報誌では紙面の都合上、掲載できる事業数が制約されることを課題として認識している。

町事業について、町民の皆さまに知っていただくために、広報誌での掲載の方法の検討、津和野町事業概要書の発行の検討を踏まえ、有効な情報発信の在り方について検討したい。

Q 公共施設総合管理計画は

A 施設の維持管理経費の縮減に取り組む

問 町保有公共施設、80施設の総延べ床面積8万3800㎡を10年間で、10%縮減を目標にしているが、現状はどうか。

また、直近5年間の公共施設の投資的経費が、年平均9・02億円の試算結果が出されたが、財源確保は。

町長 計画策定以降、日原山村開発センターの解体やシルクの里交流館の一部解体等により減少した一方で、日原図書館の新築等による増加の影響もあり、21（令和3）年2月末時点の総延べ床面積は、8万2668㎡となり、縮減効果は1・0%となっている。

引き続き、公共施設の集約や廃止等を検討し、公共施設の適正化に取り組む。

また、耐用年数を迎えた施設の建て替えなど、施設整備の目的に即した事業債や社会資本整備交付金事業の活用を検討するとともに、民間活用の活用可能性が考えられる施設についてはPFI※等のPPP※の検討を行い、財源の確保に努めるとともに、公共施設の総量自体の見直しを進める。

また、施設の維持管理経費の縮減にも取り組む。

（※）PFI＝民間の資産とノウハウの活用 PPP＝官民の連携



くさだ きちまる
草田 吉丸 議員

Q 津和野町の財政状況は

A 厳しい状況の中、さらなる行財政改革が必要

問

中期財政計画（令和3年（令和7年））による基金の状況は、財政調整基金、減債基金、共に減少傾向である。

おもな要因と今後の基金積み立て計画は。

町長 中期財政計画における

25（令和7）年度末財政調整基金残高5億9574万円、減債基金残高1億2383万円を推計している。

財政調整基金は、コロナウ

イルス感染の影響による収回復に、期間を要すること、

普通交付税の合併算定替特別措置の終了に伴う減収等見込み、財源不足を補うため基金繰り入れを行う。

減債基金は、21（令和3）

Q 本庁舎の進捗状況は

A 業務開始5月10日を予定

問

本庁舎の改修工事について業務開始までのスケジュールは

町長 3月末で、建築工事が

終わり、並行して、電話工事、LAN工事、庁舎セキュリティ工事、防災無線工事を行い、電算サーバーの移設、住基ネット機器移設作業を行う。

4月中旬ごろ竣工式、業務



完成した新庁舎

年度以降も引き続き公債費繰り上げ償還を実施する計画とし、財源として基金繰り入れを予定している。

25（令和7）年度までの期間において、新たに基金積み立てを行うことは困難と考えている。

問 中期財政計画も含め津和野町財政についてどのように捉えているか

町長 現状の財政状況は決して余裕のある状況ではない。どちらかというと厳しい状況である。

人口減少、収収や交付税の伸びる見込みがない中で繰り上げ償還を含めた行財政改革を行い、そして財源の捻出に取り組んできた。

地方債残高は、当然上がったきているが、有利な地方債を充てているので、なんとか健全財政を保っている。

今後については、コロナの影響や庁舎建設など大型事業を行っているため、償還が始まれば厳しくなる。

Q 日原山村開発センター代替施設としての第2庁舎の改修は

A 改修か新築か検討中

問

日原第2庁舎の改修計画の進捗状況は

教育長 今年度耐震診断を実施したが、大地震に対する耐震性能は基準値以下であるとの診断報告を受けた。

耐震改修工事が約1億7300万円、同規模（700㎡）の新築工事が約2億8500万円の工事費の試算となった。

改修、新築共にメリット、デメリットがあるので、諸条件を総合的に検討し、方向性を決定したいと思う。

問

計画されている施設の

教育長 改修の場合は、大きく部

屋の構造を変えることが出来ないため、議場については部屋を活かした形で、他の部屋については、形状を活かした形で、会議室等を考えている。

調理室は、増設を考えている。

実質公債費比率はある程度上昇することはやむを得ないが、危険領域ではない。

今後も人口減少等で交付税は必ず減少してくるので、有利な財源やふるさと納税の確保に努め、さらに行財政改革を継続していく必要がある。

問

敷地的には、シルバー人材センター等の建物部分も含めて整備されるのか。

教育長

含めて検討している。

問

公民館はこの施設に入るのか。

教育長

今後協議していく。

問

重要な文化施設であるので、新築で検討願いたい。

町民の意見はどのように反映されるのか。

教育長

方向性を出した後、基本設計が出来た段階で、公聴会を開きたい。

問

完成時期は。

教育長

21（令和3）年度には方向性を固め、設計に入りたい。

その他の質問

○津和野庁舎

○移転増築される日原診療所



み たらい つよし
御手洗 剛 議員

Q 更なるコロナウイルス感染症影響等に関する経済対策は

A 国の第3次臨時交付金を活用し、対策を講じる

問

町内経済は、全国的な新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い観光、商業をはじめ産業全般に悪影響を及ぼし、正に深刻と言わざるを得ない状況にある。

町外からの入込客が期待出来ず、経済低迷の長期化が予測される。

Q ワクチン接種スケジュールは

A 4月下旬以降で接種開始

問

想定されるワクチン接種のスケジュール

は
町長 当町への高齢者分のワクチンの供給量と配送時期については、明確に示されていない状況にある。

そのため、現在のところは4月下旬以降でワクチン接種を開始するスケジュールに変更し、準備を進めているが、今後の国からのワクチン供給量等によって、更に開始時期がずれる可能性も考えられる状況である。

問

ワクチン接種の順位

町長 まず65歳以上の高齢者の方々の2回接種を約3ヶ月程度かけて実施する。その後、64歳以下の基礎疾

更なる経済支援対策は。

町長 次年度における国の第3次臨時交付金限度額1億3767万8千円を活用した経済対策に関する詳細を詰め、関係機関とともに状況を分析し、より効果的な対策を目指す。4月早々に提示する。

患を有する方と高齢者施設等の従事者への接種となる。

それ以外の64歳以下の方への接種は、これらの方々がすべて終わった後に実施する。

問

接種の方法は。

町長 当町における接種方法は、集団接種と個別接種での実施を計画しており、集団接種は津和野共存病院に協力をいただき、会場は日原地域が役場第2庁舎、津和野地域は津和野体育館で実施する。

個別接種については、開業医である和崎医院との協議により、かかりつけの患者さんのみ実施していただけることで調整している。

問

接種を受けるに必要なクーポン券の発

送は。

町長 クーポン券の発送は、接種スケジュールの案内と合わせての発送を予定しているが、当町へのワクチンの供給量と配送時期が明確に示されていないため、スケジュールを確定できない状況にある。

問

注意すべき事項としては。

Q 高齢者等の見守りと買い物支援は

A より有効性の高い制度になるよう検討する

問

津和野町総合戦略に位置づける「地域と連携し、住みよいまちをつくる」という基本目標の中で、安心して住み続けられるまちづくりを推進するため、ITを活用した高齢者等の見守りと買い物不便者対策は、2018（平成30）年11月から津和野町買い物支援センターを拠点に取組まれているが、開設後の年度別実績は。

町長 平成30年度の加入件数が、見守り7件、買い物22件、19（平成31）年度が、見守り8件、買い物38件、令和2年度、3月1日時点で、見守り6件、買い物66件。買い物物の売り上げは、平成30年度が37万9307円、平成31年度が109万7329円、令和2年度は、2月分までで、2

町長 ワクチン接種にあたり、その接種部位は肩先となり、肩先がすぐに出せるよう脱ぎやすい服装で臨んでいただきたい。

なお、集団接種にあたっては、かかりつけ医がある方は、事前に主治医と相談していただき、ワクチン接種が可能かどうか確認した上で入場を。

問

実績が低迷していることとの分析と課題解決への道筋は。

町長 見守りサービスの利用にあたっては、インターネットへの加入が必須となり、利用料500円に加え、インターネット代の負担が大きいことが考えられる。

買い物支援サービスは、開設当初に比べ、加入件数と利用件数が増えている状況は、一ここ数年の町内店舗の閉店による影響が大きいと考えられる。

また、配達回数を増やしたことによる利便性の向上も利用者拡大につながっている。

買い物支援サービスを利用することで、見守りの効果もあると考えている。

条例改正

(3月定例会)

◎旧日原町ふるさと創生基金の設置、管理及び処分に関する条例の廃止

◎津和野町木材処理加工施設の設置及び管理に関する条例の廃止

◎津和野町議会議員及び津和野町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の制定

・選挙運動用自動車の使用の公費負担

・選挙運動用ポスターの作成の公費負担

◎津和野町学校給食費徴収条例の制定

・学校給食会の解散に伴い給食費の徴収を各学校から町が徴収

◎津和野町課設置条例の一部改正

・介護保険に関する業務を健康福祉課から医療対策課に分掌変更

◎津和野町おとし暮らし住宅の設置及び管理に関する条例の一部改正

・おとし暮らし住宅（左燈）の追加

◎津和野町借上賃貸住宅管理条例の一部改正

・ヒラダハイツIII号館を追加

◎津和野町職員の特殊勤務手当の支給に関する条例の一部改正

・感染症防疫作業従事手当の特例

◎ふるさと津和野基金条例の一部改正

・人づくりの充実に関する事業の追加

◎津和野町看護学生修学資金貸与条例の一部改正

・月額4万円を8万円に改める

契約の締結

(2月臨時会)

●JR津和野駅舎等建物の取得

契約の金額

943万8千179円

西日本旅客鉄道(株)

(3月定例会)

●平成31年度町道日原市街線旭橋耐震補強工事(第2期)請負変更契約の締結

随意契約 堀建設(株)

変更の金額

1億4631万5千4百円

(3301万5千4百円増額)

変更理由

・水平力分担装置の追加

・落橋防止装置の変更

・使用部材は受注生産品でコロナ禍の影響により使用部材の納期が延びたことによる工期

内完了が困難と見込まれ変更

●令和2年度津和野町役場本庁舎(元日原診療所)改修工事請負変更契約の締結

随意契約 堀建設(株)

変更の金額

6億4892万5千2百円
(2192万5千2百円増額)

・既存床撤去改修部の増加と既存床上に新床材張りの範囲が増加

●物品売買契約(安野光雅作品原画)の締結

(株)NHK出版

契約の金額

6540万円

納入期限 令和13年3月20日

●令和2年度津和野城山整備事業ライトアップ整備工事請負変更契約の締結

随意契約 北洋電気工事(株)

変更の金額

9493万3千3百円

(3706万6千7百円減額)

変更理由

・電源ケーブルの変更

・LED投光器の照射に適した場所が確保でき、数を減らした

・LED投光器の照射に適した場所が確保でき、数を減らした

・LED投光器の照射に適した場所が確保でき、数を減らした

●令和2年度原木・チップヤード建設工事請負変更契約の締結

一般競争入札 (株)日成建設

契約金額 2億6070万円

完成 令和3年3月31日

(3月臨時会)

●令和2年度原木・チップヤード建設工事請負変更契約の締結

随意契約 (株)日成建設

工期変更 令和3年11月30日

請願

●浸水害等の避難収容施設設置に関する請願

(12月定例会において文教民生常任委員会に付託)

【請願者】

社会福祉法人つわの福祉会

理事長 松野 秀樹

紹介議員 米澤 宏文

丁 泰仁

【請願事項】洪水等による災害避難に即応できる避難収容施設の設置を提案する

文教民生常任委員会
審査意見

地球温暖化が起因する気候変動によつて、近年、毎年のように全国各地で想定外の豪雨災害が頻発している。

現在の施設は洪水浸水想定区域(平成30年指定)にあつて平屋建てである。

現状の町指定避難所である津和野町民センターへは、250m。

夜間、豪雨、強風下での避難行動は極めて厳しいことが考えられる。

このようことから、今後の支援体制を考慮した結果、人命優先の観点から垂直避難を前提とした2階建ての施設整備が必要との結論に達した。

この際、建設場所として、

社会福祉法人つわの福祉会所有の土地414㎡（現状職員駐車場・津和野町デイサービスセンター北側に隣接）が最有力候補地と考えられる。

建設時期、施設の構造等については、町の福祉計画を鑑みて適切な対応を望むものである。

※本会議において採択

●「最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める意見書」の採択を求める請願

請願者

島根県労働組合総連合

議長 村上 一
寺戸 昌子

紹介議員

【請願趣旨】

政府は、労働者の生活を支えるため、最低賃金を抜本的に引き上げるとともに、全国一律最低賃金制度をめざし地域間格差の是正をはかり、最低賃金の引き上げができ、経営が継続できるように、中小企業への支援策を最大限拡充し、国民の生命とくらしを守ること。

賛成多数により採択

国の関係機関に意見書として送付

所管事務調査報告

●総務経済常任委員会

津和野町の事業計画と財政

「調査報告」

（基金）

○財政調整基金

中期財政計画で財源不足が発生した部分には、すべて財政調整基金から繰り入れしている。

財政調整基金は2021（令和3）年度10億7千万円から、令和7年度には5億9千万円に減少見込みである。

公有林整備にかかる起債の償還が、27（令和9）年度終了するため、それ以降は積み立てに向きたい。

○減債基金

令和3年度2億8千万円から25（令和7）年度1億2千万円と減少見込みである。

繰り上げ償還については、臨時財政対策債の償還について、有利な条件となるタイミングを見て繰り上げ償還する予定である。

○特定目的基金

合併特例債で積み立てている津和野町まちづくり基金が、9億6千万円程度あり、特定目的基金としては

最も大きな金額である。

償還後または借入後、10年経過すれば基金取り崩しにより新町建設計画に掲載されたソフト事業に、充当出来るものである。

（財政指標）

○経常収支比率

20（令和2）年度より減少傾向にある。

人件費で、職員定数の現状維持を目指した調整。

また物件費については対前年比2%減で推計している事が要因と思われる。

○公債費比率

令和2年度から緩やかな上昇傾向である。

普通建設事業において事業の年度平準化、先延ばし、中止するなどの作業を行っていることや、計画的な繰り上げ償還の実施等が、要因と思われる。

【調査意見】

少子高齢化の進む中で発生した新型コロナウイルスにより、津和野町の経済も大きな影響を受けている。

コロナ対策のための財政支出や税収減は今後の財政運営上厳しい状況が予想される。

併せて、今後も庁舎改修をはじめとした大型事業も

計画されている。

増加する行政需要に対応するためにも、中期財政計画の年度ごとの検証により、優先すべき事業の積み上げと、既存事業の見直し等を行い、計画的な財政運営を求めるものである。

基金については、財政調整基金・減債基金の積み立てが減少傾向にある。

災害など非常時の備えとして、本町に適した規模の基金確保に努められたい。

今後も行財政改革を継続し、健全な財政運営に努められたい。



提出者	議案・賛否表 ○＝賛成 ●＝反対 欠＝欠席	草	米	川	道	板	丁	御	三	寺	後	岡	結	
		田	澤	田	信	垣		手	浦	戸	山	田	果	
令和3年第1回(1月)津和野町議会臨時会														
町長	令和2年度津和野町一般会計補正予算(第11号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	可決	
令和3年第2回(2月)津和野町議会臨時会														
町長	【専決処分】令和2年度津和野町一般会計補正予算(第12号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
	JR津和野駅舎等建物の取得	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
	益田地区広域市町村圏事務組合が共同処理する事務の変更に伴う財産処分について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
	令和2年度津和野町一般会計補正予算(第13号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
令和3年第3回(3月)津和野町議会定例会														
町長	平成31年度町道日原市街線旭橋耐震補強工事(第2期)請負変更契約の締結	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
	令和2年度津和野町役場本庁舎(元日原診療所)改修工事請負変更契約の締結	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
	物品売買契約(安野光雅作品原画)の締結	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
	旧日原町ふるさと創生基金の設置、管理及び処分に関する条例の廃止	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
	津和野町木材処理加工施設の設置及び管理に関する条例の廃止	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
	// 議会議員及び津和野町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
	// 課設置条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
	// お試し暮らし住宅の設置及び管理に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
	// 借上げ賃貸住宅管理条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
	// 職員の特殊勤務手当の支給に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
	ふるさと津和野基金条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
	津和野町保健、福祉及び医療対策審議会設置条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
	// 看護学生修学資金貸与条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
	// 駐車場条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
	公の施設の指定管理者の指定(施設:津和野町中高齢者作業施設 指定管理者:野中里山倶楽部)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
	// (施設:津和野町空家活用定住住宅野口団地4号 指定管理者:株高津川暮らしの研究所)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
	// (施設:津和野町宮塾日原 指定管理者:(一社)つわの学びみらい)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
	// (施設:寺田納骨堂 指定管理者:寺田納骨堂利用者の会)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
	// (施設:下左鍬地区広場緑地等利用施設 指定管理者:下左鍬自治会施設管理組合)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
	// (施設:津和野町水辺施設「オンドリ観察小屋」 指定管理者:日原オンドリの会)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
	町道石西社支線の路線認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
	令和2年度津和野町一般会計補正予算(第14号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
	// 国民健康保険特別会計補正予算(第4号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
	// 介護保険特別会計補正予算(第4号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
	// 後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
	// 下水道事業特別会計補正予算(第4号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
	// 農業集落排水事業特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
	// 奨学基金特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
	// 診療所特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
	// 介護老人保健施設事業特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
	// 病院事業会計補正予算(第4号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
	// 水道事業会計補正予算(第4号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
令和2年度津和野城山整備事業ライトアップ整備工事請負変更契約の締結	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決		
// 原木・チップヤード建設工事請負契約の締結	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	可決	
令和2年度津和野町一般会計補正予算(第15号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
// 国民健康保険特別会計補正予算(第5号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
// 介護保険特別会計補正予算(第5号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
// 後期高齢者医療特別会計補正予算(第4号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
// 下水道事業会計補正予算(第5号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
令和3年度津和野町一般会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	可決	
// 国民健康保険特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
// 介護保険特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
// 後期高齢者医療特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
// 下水道事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
// 農業集落排水事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
// 奨学基金特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
// 診療所特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
// 介護老人保健施設事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
// 病院事業会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
// 水道事業会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
請願	「最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める意見書」の採択を求める請願	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	採択	
議員	最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める意見書の提出	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	可決	
令和3年第4回(3月)津和野町議会臨時会														
町長	令和2年度原木・チップヤード建設工事請負変更契約の締結	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	可決

津和野町子ども議会学習会

2月1日から4日、津和野町の各小学校に津和野町議会議員が訪問し、「津和野町子ども議会学習会」を行いました。

議員からは議会の仕組みを説明し、児童からはまちづくりについてグループごとに発表を行いました。

児童の発表は後日、議長より町長に報告され、町長から回答をいただきましたので、以下掲載させていただきます。

〔児童の発表と町長への回答〕

木部小学校

児 木部のお年寄りが、自由に移動できるように

午前・午後1本ずつバスの本数を増やしてほしい。

バス停まで徒歩40分かかる方もいる。タクシードと津和野中心地まで片道3700円かかるため、安くて利用しやすいタクシーが必要だ。

町 木部地区と共存病院を往復

する路線は、町営バスで最も利用者が多い路線です。

町では、利用する方が事前に登録して毎月定額料金を先に支払い、必要な時に予約するとバスを配車できるような仕組みを検討しているところです。

この仕組みを実現するためには、いろんな人と話し合いをしたり、必要なお金を調達する必要があるのですが、今はいつ頃実現できるか等をお知らせできませんが、住民の皆さんが住みやすい町にするために検討していきます。

児 町が空家を買取り、リフォームをして売ってほしい。

中学校などを活用して木部の食材を使った田舎食堂を作ってほしい。

アシレチックを作って、子どもも楽しめるようにしてほしい。

町 津和野町では、所有者から空家の貸出を行っておりま

す。

今後も積極的に空家を活用した取り組みを行い、若い人がどんどん住んでいただく環境を作って行きたいと思っています。

次に、中学校を活用した田舎食堂に関しては、とても興味深く受けとめております。



みなさんもうこういう方法で運営をすればお金をできるだけかけずにできるのかといったこと等、研究してみたいと思います。

次に、新たな遊具の設置については、今後研究してみたいと思います。

いと思っています。

児 街灯をつけ、明るい木部にしてほしい

町 暗い場所や危険な場所があれば、地域の方にお願ひして申請してください。

また地域からの提案に対して、役場が活動の補助をする制度もありますので、みなさんが地域の方々と話し合って街灯の設置を実現することも可能です。

津和野小学校

児 地域の方々と学校の授業だけではなく、間伐体験やゴミ拾いを行い、継続的なつながりを作る。

古川邸で児童が提案するゲームやトレーニングすることで、プロジェクトでつながりを作っていく。

これらを行うことで、人と人とのつながりを深めていく。

町 地域の方との「つながりづくり」を意識した素晴らしい提案だと感じました。

提案にある旧古川邸につい

でも、現在所有者にご協力いただき、「つながりの生まれる居場所づくり」として、子どもの居場所づくりに取り組んでいます。

今後、津和野小学校の児童の皆さんにも、様々な面で使っていただき、誰もが使える、また居て良い場所として、活用を図っていく計画です。

児 会話が弾み笑顔があふれるような地域のつながりが少ないことが課題。

地域の人を誘い、宿題やクッキング、カードゲーム、伝統的な遊びをする。

地域の人が参加し、お菓子を作ったり、宿題を教えてもらったりするなどすることで、子どもとの会話が增える。

古川邸を活用し、いろいろな企画をすることで、人と人

町 地域とのつながりづくりをしつかり意識している、素晴らしい提案であると感じました。

今後も定期的に「喜多屋ウィーク」のような取り組みを実施していく予定ですので、皆さんにも参加をお願いしま

す。

児 町の中心部から、畑迫地区や木部地区まで歩き、休憩では映画を見たり、お年寄りの方とお話しをする。

夜は天文台で、星空を見る。ご飯をみんなと一緒に作る。

帰りにお土産を渡し、メッセージカードを渡す。



町 提案は、とても楽しそうな企画だと思います。

これらの魅力を実際に「知る、見る、学ぶ」ことで津和野町に誇りを持つきっかけになると思います。

提案にあるような「ツアー」企画はこれまで実現したことがないので、今後検討していきたいと思っています。

児 古川邸に集合し、宿題や弁当づくり。

笹山で弁当を食べ、下山し、テントに宿泊し、夜はカレーを作る。地域の人の自宅のお風呂に入る。川遊びなどをする「津和野さんまキャンプ」(*さんま=仲間・時間・空間、3つの「ま」の意)をしたらどうか。

町 キャンプについては、子ども対象で行ったアンケート調査でも地域でやってみたいこととの上位に必ず入ってきました。

例年行っている「通学合宿」が提案の「津和野さんまキャンプ」に内容が近いと思われます。令和3年度はコロナ感染の状況を見ながら、実施にむけて検討していく予定です。この通学合宿のなかで、提案にあるテント宿泊等も前向きに検討していきたいと考えていますので、小学生の皆さんの参加をお待ちしております。

日原小学校

児 人と話す機会が少ない。公園も広場もあるが、遊具や花、イルミネーションなどがない。

広場に花や木を植え、釣りスポットを作りレンタル竿で魚釣りができたりしたい。

公園には日原ならではの遊具(ワサビ型ブランコ、鮎形のシーソーや鮎形の滑り台など)を設置すべき。

町 津和野町内の公園は、「日原カントリーパーク」、「津和野城山公園」、「高崎亀井邸跡児童公園」の3か所があります。公園にもっと人が集まり、もっと楽しい場所になり、これまで以上に利用していただけるよう努力いたします。

また、令和3年度事業におきまして、日原カントリーパークの遊具等を改修するための検討を行いたいと考えております。みなさんから提案のありました遊具は、研究するべき点が多数ありますが、

みなさんから頂いた貴重な提案を今後の公園整備等の参考にさせていただきたいと考えております。

児 お店が少なく、空家が多い、人口も減っている。

空家を藩校養老館や日原図書館のようにして、シェアハウスやカフェなどお店にしたらどうか。

町 日原図書館の隣にある空家（古民家）を改修し、町民のみなさんが集い、楽しく交流するための「かわべ」をオープンいたしました。町外の方々からも非常に高い評価をいただいております、利用者数も伸びてきております。

小学生のみなさんにもたくさん本を読み、「かわべ」で楽しんでいただきたいと思います。

また、最近当町には、シェアハウスの要望をいただいております。

今後も、町内の方に喜んでいただけることを第一に考えながら空家の改修に努めてまいります。

児 遊ぶ場所、公園、広場が少ないので、津和野町の木を

使って遊具を作り、子どもたちが住みやすい地域を目指すべき。

病院が少ないので、病院を増やした方がいい。近くにあれば親も安心する。公園と病院が津和野町には必要。

町 提案をいただきましてありがとうございます。

今回の提案は、当町にとって大切なことでありますので、遊具や家具を作る会社



方に相談するなど、実現できるかどうか研究してみたいと思います。

病院についてですが、役場

としては、病院から離れた地域に対して、例えば公民館などへ患者さんに時々集まってもらい、お医者さんが出向いて診療する巡回診療を実施したいと考えています。

また、将来的には、病院と公民館等をつなぎ公民館で情報通信技術を使った遠隔診療などができれば、患者さんやお医者さんの負担も軽くできるのではないかと考えております。

みなさんがお医者さんや看護師さん、検査技師さんなどの医療に関係する職に就いてもらい、津和野町の医療を守ってもらえると大変助かります。

児 木のゆるキャラの提案

名前 木木（もっきー）

男の子・10月8日

（木の目）生まれ・年齢はひみつ・好きな食べ物源氏巻・特技は木を見て種類がわかる、趣味は盆栽。

町 町には「つわみん」という町公認のゆるキャラがあ



ります。島根県には「しまねSUPER大使吉田くん」というキャラクターがあり、「しまねっこ」と同じように活躍し、全国で有名になっております。この「吉田くん」は非公式キャラクターであり、同じようにみなさんが「木木（もっきー）」のような非公式キャラクターを作り、いろいろな活動の場で使ったり、PRをすることも素晴らしいと思います。

森林や木材を使ったイベントの時など、役場でも「木木（もっきー）」を使わせていただいて、「つわみん」とともに津和野町をPRする場面で活躍してもらいたいと思います。

青原小学校

児 地区に1つ店を作り、いろいろな年代の人が集まって人と人がつながる。

町 各地区にみんなが集まれる場所があることはとてもいいことだと思います。津和野町には各地区に公民館があります。ぜひ皆さんも公民館の皆さんと一緒に何か計画してみるのが良いと思います。きつと素敵な人のつながりが生まれるのではないのでしょうか。

児 空き地をミニシアターの場所や、薬局、公園などにする人と人がつながる。

町 日原地区では日原図書館もある「日原にぎわい創出拠点かわべ」が、町内外からの人々が交流をしながら、地域を盛り上げることを目的に活動されています。

カントリーパークの古くなく危険な遊具を新しくする計画もあります。皆さんが新しい遊具で元気に遊んでくれたら、とてもうれしいです。

児 「ゴミの無い青原にしたい」



町 ゴミの無い青原にしたいという考えには大賛成です。今後も、役場として適切な管理に努力いたしますが、町民のみなさんにもご協力をいただきたいと考えています。青原小学校のみなさんにもゴミの無いきれいな青原を守るためにゴミ拾いや草刈りにご協力をいただければとても助

かります。
児 子供会は青原、小瀬が別々に活動しており、子どもから高齢者まで一緒に活動する行事が少ない。

体育館を利用したふれあい横丁を提案したい。高齢者も子供も楽しめる遊び（大人も参加）や昼食会（子供が作った焼きそばやお弁当など）、屋台（店番は大人、皆が持ち寄ったお菓子など）、子供の発表、お話タイム、感想発表を行う。

町 青原地区でも、地域課題に対する関心を高め、解決に向けてチャレンジしている中学生が、今回提案があったような子どもから大人までが、ふれあうことができる場づくりにも取り組んでいます。

これから、子どもたちの「やってみたい」を地域とともに「やってみる」ことができる「まち全体が学びの場」をめざしていきます。

編集後記

3月の一般質問者10人の内4人が「新型コロナウイルス」に関するものである。もう1年以上にわたってこのウイルスには苦しめられている。

負けてなるかと思うが、心が折れそうながある。

そこで、立ち向かうための「名言」を拾ってみた。

・悲観主義は気分だが、楽観主義は意志である。

アララン（哲学者）

・人間というものは、悲しさ、無念さを心底から味わいながら、それに耐えなければならぬ。

本田宗一郎

・長い人生の中で、1年や2年の遅れは、モノの数ではない。

松下幸之助

・最初の一步を踏み出しなさい。階段全体を見る必要はない。ただ、最初の一步を上りなさい。

キング牧師

・風が一番高く上がるのは、風に向かっているときである。

チャーチル

・忍耐は苦い。しかし、その実は甘い。

野口英世

・物事を始めるチャンスは、私は逃がさない。

ナイチンゲール

道信 俊昭

広報広聴常任委員会

◎川田 剛 ○寺戸 昌子

草田 吉丸 道信 俊昭

丁 泰仁 三浦 英治